

快適な住空間を
創造・先取り提案

Panasonic

a dvance
C reative
a menity

高野内建設 株式会社
0476-95-0217(代)
千葉県印旛郡栄町安食 2481-15
<http://www.takanouchi-kensetsu.jp/>
栄町建設協同組合 加盟店

冬至

冬至にはカボチャやこんにゃくを食べて柚子湯に入る習慣があります。寿命が長く病気にも強い柚子の木なら、柚子風呂に入つて無病息災を祈る風習になつたと言われています。こんにゃくを食べるのは一年間たまつ砂下ろしをするためだとか。冬至に「ん」のつく食品を食べると幸運が得られるという言い伝えがあります。冬至の七種は「ん」が2つつくもので「なんきん(かぼちゃ)」「にんじん」「れんこん」「ぎんなん」「きんかん」「かんてん」「うんどん(うどん)」でこれらを食べると病気にかかりず、うどんは運(うん)・鈍(どん)・根(こん)に通じるので出世するといわれています。冬至は「一陽來復」の日でもあり、転じて悪いことばかり続いたあとでも、ようやく幸運に向う日とされます。カボチャを食べて幸運に向かいましょう。

2013年アクア情報 師走

佐倉市S様邸

今月の
リフォーム!



S様の声

以前は排水の流れも、水はけも悪くてステンレスの冷たい浴槽に寒い思いをしていました。新しいお風呂になり水はけもよくて掃除も簡単。洗面所のドアも交換し、明るくスッキリしてとても良かったです。

担当者の声

今回は主に浴室と洗面所のリフォームをさせて頂きました。以前から直したいとは考えていたのですが、浴室のタイルが割れて、水が床下内部に浸入してしまい「これは直さないと」という事でご決断されたそうです。幸い構造材はしっかりしていた為、最小限の修理で済ませる事ができました。洗面所の壁の埋込み収納も増やし、使い勝手も良くなりました。

担当:高橋

Y様邸 建替新築工事 牛久市

上棟



無事に完成する様、工事の安全と
家内安全を祈願しました。

Y様の声

基礎だけの時はせまく感じてしましましたが、実際に建つとすごく大きく感じて想像していた物が、実際に形になり実感がわいてきました。構造材も国産材でがっちりとしていて、益々完成が楽しみになりました。

担当:戸田

はたち 20歳 のリフォーム イベント大盛況!!

2013年 11月16日(土)

会場 パナソニックリビングショールーム柏

布施弁天



お客様の声

H様・最新のキッチンやお風呂を見てとても参考になり、是非と見積りをお願いしました。

Y様・IH調理器の火力が強いことに驚きました。安全で掃除も簡単で交換を考えています。

S様・天氣にも恵まれて絶好のバスツアーワークでした。栗の詰め放題などイベントもあって楽しかったです。

担当:高野内

担当者の声

前号で皆様にご案内させて頂きました「住まいのリフォーム相談会」バスツアーワークを開催致しました。

パナソニックのショールームでは、最新の住宅設備機に実際に触れる事が出来、今後のリフォームや新築等に非常に参考になったとご参加の皆様には大変喜んで頂きました。今後も皆様のお役に立てる企画や楽しいイベントを開催ていきたいと思いますので、お気軽にご参加下さい。

寒い季節…
温かい便座はいかがですか。

年末大特価セール

「ピンポン」「誰だろう・・・?」
そんな不安はありません!

空き巣、押し売りは、「カメラ付きインターホン」が大嫌い!

パナソニック カラーテレビドアホン

特別価格 工事費込¥24,000~(税込)

年間電気代約3,610円/年。月間電気代約301円/月。



今あるインターホンにも、他社製も配線を使ってほとんどのインターホンと交換できますが、例外もありますので一度ご相談下さい。



担当:鈴木

社長のつぶやき

先日、今年のしめくくりのイベント「パナソニックのショールーム見学商談会」に多数の参加を頂き、本当に有難う御座りました。快く引受けてくれた方、やりくりして都合をつけてくれた方、感謝です。

皆様と楽しくより深く親交することが出来て、本当に有意義な一日でした。特に昼食の料理の運ばれて来た時の歓声、伊勢エビのフライが器から大きくなっています。私も「こんな立派な食事は注文していない」と思わずいつてしましました。北柏の駅前のレストランです。お店側の大サービスでした。予約をした時に20人足らずにもかかわらず、土曜日の昼食だったので、しぶっていた

訳がわかりました。大満足で席を立つと、外には数人が列を作っていました。(ああ、これが繁盛店なんだ)とお客様満足度100%で帰り、「又行って食事しよう」と思われるような手段を!!

さて我が社ではどうだろう。新築して何年後にリフォームして…又『高野内建設にやつてもらおう』と思っていただいているか、皆で考えさせられる、いい機会を頂きました。これは我が社の永遠のテーマであり、そうななければ、今後は無いと思っています。それに近づくよう全員で力を合わせて頑張ろうと再確認したところです。

高野内建設(株) 代表取締役 高野内 勝幸

